



2019年3月8日

各 位

会 社 名 株式会社ジュンテンドー
代表者名 代表取締役社長 飯塚 正
(コード番号 9835 東証第二部)
問合せ先 専務取締役管理本部長
吉野 順祥
(TEL 0856 - 24 - 2400)

ドラッグストア事業の事業譲渡 ならびに特別利益・特別損失計上に関するお知らせ

当社は、2018年12月17日開催の取締役会において、「サンデーズ」の名称で展開するドラッグストア事業をウエルシア薬局株式会社（以下「ウエルシア薬局」）に事業譲渡することについて決議し、2019年2月28日をもって譲渡致しましたのでお知らせいたします。

また、本事業譲渡により2019年2月期決算において特別利益及び特別損失を計上いたしますので併せてお知らせいたします。

記

1. 事業譲渡の経緯

当社は、「地方都市、中山間地、離島のなくてはならないインフラになろう」の志・経営理念のもとに、「ホームセンターは、農業、園芸、資材、金物、工具、ワーキングの専門店である」の基軸にもとづき、商品・販売施策強化と修理、貸出、技術提供等のサービス面の充実を図っており、一方で、ドラッグストア・ブックセンターの関連事業を含め、地域インフラの充実整備に努めてまいりました。

そのような地域に根差した事業展開を推進するなか、今後の展望を踏まえて事業ポートフォリオの最適化を検討した結果、ホームセンター事業に経営資源を集中させるため、当該事業の譲渡を決定しました。

一方、譲受側であるウエルシア薬局は、「お客様の豊かな生活と健康な暮らしを提供します。」の企業理念のもと、健康をテーマとした付加価値の高い商品やサービスを提案する「専門総合店舗」を目指し、「調剤併設」、「カウンセリング」、「深夜営業」及び「介護」を軸としたドラッグストアを関東中心に東北から近畿地方において展開しており、今後の出店地域拡大のきっかけとするため、当該事業の譲受を決定いたしました。

2. 事業譲渡の概要

(1) 譲渡する事業

ジュンテンドーの「サンデーズ」江津店、浜田店、川本店、加計店、新見店、益田駅前店の合計6

店舗をウエルシア薬局に譲渡。（なお、当初下本郷店を含めた7店舗の譲渡を予定しておりましたが譲渡に向けた協議を進めていく中で、下本郷店は本事業譲渡の対象外となりました）

(2) 譲渡事業の経営成績

(関連事業のうちの一部の事業の譲渡であるため、売上高と売上総利益のみを記載しております。)

	譲渡事業2018年2月期実績	当社2018年2月期実績	比率
売上高	1,377百万円	42,337百万円	3.3%
売上総利益	293百万円	12,236百万円	2.4%

(3) 譲渡事業の資産、負債の項目および金額 (2019年1月末現在)

資 産		負 債	
項 目	帳 簿 価 額	項 目	帳 簿 価 額
商 品	26百万円※	該当なし	
土 地	25百万円		
敷 金	24百万円		
建物・建物付属・構築物	23百万円		
その他固定資産等	3百万円		
合 計	101百万円	合 計	

※商品在庫については譲渡を円滑に進めるため、処分セールなどの在庫削減を行っております。

(4) 譲渡価額について

譲渡価額 譲渡先との秘密保持義務の観点から開示は差し控えさせていただきます。なお、譲渡価額については入札による市場価格を反映した合理性のある価格として、相手先との間で誠実に協議・調整のうえ合意したものです。

3. 相手先の概要

(1) 名 称	ウエルシア薬局株式会社	
(2) 所 在 地	東京都千代田区外神田二丁目2番15号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 水野 秀晴	
(4) 事 業 内 容	ドラッグストアの運営	
(5) 資 本 金	100百万円	
(6) 設 立 年 月 日	1974年4月19日	
(7) 純 資 産	112,113百万円(2018年2月末現在)	
(8) 総 資 産	255,101百万円(2018年2月末現在)	
(9) 大株主及び持株比率	ウエルシアホールディングス株式会社 100.00% (2018年2月末現在)	
(10) 当 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	記載すべき事項はありません。
	人 的 関 係	記載すべき事項はありません。
	取 引 関 係	記載すべき事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

4. 日 程

取締役会決議日	2018年12月17日
契約締結日	2018年12月17日
事業譲渡期日	2019年2月28日

※本事業譲渡は会社法第467条第1項第2号に定める「事業の重要な一部の譲渡」に該当しないため、株主総会での承認を不要とする簡易手続きによります。

5. 特別利益・特別損失の計上

本事業譲渡により、2019年2月期決算において事業分離における移転利益180百万円を特別利益に計上し、事業整理損として約30百万円（現在精査中であり増減する可能性があります）を特別損失として計上する見込です。

6. 今後の見通し

本件による2019年2月期の業績見通しへの影響は現在精査中であり、現時点では業績予想の想定が困難であります。合理的に予測可能になった時点で速やかに開示致します。

以 上